

平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年7月28日

上場会社名 さくらインターネット株式会社
 コード番号 3778 URL <http://www.sakura.ad.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 邦裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 川田 正貴
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 東

TEL 06-6265-4830

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,755	—	86	—	76	—	114	—
20年3月期第1四半期	1,453	65.6	38	—	21	—	5	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	2,541.58	2,536.37
20年3月期第1四半期	176.80	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	4,819	1,053	20.6	22,077.83
20年3月期	5,097	932	17.2	19,536.25

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 993百万円 20年3月期 878百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	—	0.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	3,589	—	63	—	30	—	10	—	244.22
通期	7,666	23.5	308	115.4	244	187.1	206	—	4,584.58

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 44,988株 20年3月期 44,988株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 一株 20年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第1四半期 44,988株 20年3月期第1四半期 32,270株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 平成20年5月15日に公表しました第2四半期累計期間および通期の業績予想は、修正していません。

上記に記載した内容は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要因を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により予想数値と異なる場合があります。

(2) 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第14号)」を適用しております。また「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

(1) 平成21年3月期 第1四半期の概況

当第1四半期におけるわが国の経済は、原油価格の高騰およびそれに伴う原材料・商品価格の上昇、サブプライム住宅ローン問題を背景とする株式・為替市場の変動等、先行きが不透明な状況となっております。

当社の事業分野であるインターネット市場につきましては、平成20年版情報通信白書によりますと、日本のインターネット利用者数が、平成19年末で8,811万人（対前年比0.7%増）、人口普及率が69.0%（対前年比0.5%増）と推計されるなど、伸び率は緩やかになったものの成長を続けております。こうしたインターネットの普及により、消費をめぐる情報の流れが、これまでの企業が消費者に向けて発信する一方的なものから、双方向的なものに変わりつつあります。

このような状況の中、当社では経営基盤の確立と財務体質の強化を図るべく、データセンター運営の効率化の推進、平成20年5月には基幹回線であるバックボーン容量の137Gbpsへの増速、幅広い顧客ニーズに対応するためのサービスの改良などを行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期の業績は、売上高1,755,379千円（前年同期比20.7%増）、経常利益76,057千円（前年同期比248.0%増）、四半期純利益114,340千円（前年同期比108,635千円増）となりました。

(2) サービス別の概況

①ハウジングサービス

データセンター需要の拡大を背景とした、最新のデータセンターにおける新規顧客の増加などにより、売上高は679,995千円となりました。

②専用サーバサービス

プランの追加・改定、新たなOSバージョンへの対応、および新モデルサーバなど最新機器の提供等、幅広い顧客ニーズへの対応により、売上高は517,458千円となりました。

③レンタルサーバサービス

「さくらのレンタルサーバ ビジネスプロ」など、コストパフォーマンスに優れた顧客満足度の高いサービスが堅調に伸び、売上高は218,317千円となりました。

④その他のサービス

レンタルサーバサービスの顧客増加との相乗効果によるドメイン取得代行手数料として売上高73,716千円、機器販売・コンサルティング等による売上高163,881千円などにより、その他のサービスの売上高は339,606千円となりました。

サービス区分別の状況

サービス区分		当第1四半期		前第1四半期	
		売上高(千円)	構成比率(%)	売上高(千円)	構成比率(%)
ハウジングサービス	売上高	679,995	38.7	501,911	34.5
専用サーバサービス	売上高	517,458	29.5	417,531	28.7
レンタルサーバサービス	売上高	218,317	12.4	154,694	10.7
その他サービス	売上高	339,606	19.4	379,623	26.1
合計	売上高	1,755,379	100.0	1,453,760	100.0

（注）前事業年度においてインターネット接続サービス事業をノンコア事業と認識し、その一部を事業譲渡したため、当該売上高はその他サービスに含んでおります。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

①資産

流動資産は、前事業年度末に比べ293,298千円減少し、1,552,974千円（前事業年度末比15.9%減）となりました。主な要因は、有利子負債の返済等に伴う現金及び預金の減少333,290千円、売上増加に伴う売掛金の増加65,731千円、たな卸資産の簿価切下げに伴う貯蔵品の減少20,905千円によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ15,364千円増加し、3,266,871千円（前事業年度末比0.5%増）となりました。主な要因は、建物の減少63,919千円、サンシャインデータセンターの閉鎖に伴う減損処理等を含む工具器具備品の減少63,444千円、によるものです。

この結果、当四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ277,934千円減少し、4,819,845千円（前事業年度末比5.5%減）となりました。

②負債

当四半期会計期間末の負債の合計は、前事業年度末に比べ399,185千円減少し、3,766,538千円（前事業年度末比9.6%減）となりました。主な要因は、法人税の支払に伴う未払法人税等の減少130,213千円、短期借入金の減少160,000千円、一年以内返済予定を含む長期借入金の減少75,999千円、サービス利用申込の増加に伴う前受金の増加62,207千円によるものです。

③純資産

当四半期会計期間末の純資産の合計は、前事業年度末に比べ121,250千円増加し、1,053,306千円（前事業年度末比13.0%増）となりました。主な要因は、四半期純利益114,340千円の計上によるものです。

（2）キャッシュ・フローの状況

当第1四半期における現金および現金同等物は333,290千円減少し、当第1四半期末残高は992,222千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況と主な要因は、次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前四半期純利益49,506千円、減価償却費146,262千円、前受金の増加額62,207千円、未払消費税等の減少額72,016千円、売上債権の増加額65,731千円および法人税等の支払額134,982千円等により、118,358千円の収入となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出143,934千円および敷金保証金の支出19,699千円等により、163,753千円の支出となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の返済による支出160,000千円、長期借入金の返済による支出75,999千円およびリース債務の返済による支出52,637千円等により、288,640千円の支出となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期につきましては、当社の主軸事業であるデータセンター運営事業の業績が堅調に推移し、繰延税金資産の見直しによる法人税等調整額の計上を行ったこと等により、計画を上回る数値で推移しております。しかしながら、第2四半期の現時点では、一層の財務体質の強化と経営基盤の確立を図る必要があることを踏まえ、平成20年5月15日発表の第2四半期累積期間および通期業績予想に変更はありません。

4. その他

（1）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてののみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

（2）四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②たな卸資産については、従来、原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下の方法）により算定しております。この変更に伴い売上総利益、営業利益、経常利益および税引前四半期純利益はそれぞれ22,918千円減少しております。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	992,222	1,325,513
売掛金	373,073	307,342
貯蔵品	89,108	110,014
前払費用	85,400	60,605
未収入金	18,012	65,998
その他	47,913	13,650
貸倒引当金	△52,757	△36,850
流動資産合計	1,552,974	1,846,273
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,337,249	1,401,169
工具、器具及び備品（純額）	910,461	847,016
有形固定資産合計	2,247,710	2,248,186
無形固定資産		
ソフトウェア	434,890	468,064
ソフトウェア仮勘定	2,929	2,929
その他	4,334	4,459
無形固定資産合計	442,153	475,452
投資その他の資産		
敷金及び保証金	380,422	360,957
投資有価証券	68,616	68,616
関係会社株式	0	1,960
長期前払費用	83,511	87,530
その他	44,455	8,803
投資その他の資産合計	577,006	527,867
固定資産合計	3,266,871	3,251,506
資産合計	4,819,845	5,097,779
負債の部		
流動負債		
買掛金	157,955	122,202
短期借入金	120,000	280,000
1年内返済予定の長期借入金	303,996	303,996
未払金	316,695	360,058
未払法人税等	8,515	138,728
前受金	1,023,179	960,971
賞与引当金	47,391	83,788
その他	397,173	387,027
流動負債合計	2,374,906	2,636,772

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
固定負債		
長期借入金	566,704	642,703
リース債務	816,123	870,657
その他	8,805	15,591
固定負債合計	1,391,632	1,528,951
負債合計	3,766,538	4,165,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	895,058	895,058
資本剰余金	—	729,232
利益剰余金	98,179	△745,394
株主資本合計	993,237	878,896
新株予約権	60,069	53,158
純資産合計	1,053,306	932,055
負債純資産合計	4,819,845	5,097,779

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	1,755,379
売上原価	1,301,372
売上総利益	454,007
給料及び手当	73,508
その他	293,734
販売費及び一般管理費	367,243
営業利益	86,764
営業外収益	
受取利息	579
受取保証料	147
為替差益	1,992
営業外収益合計	2,719
営業外費用	
支払利息	13,426
営業外費用合計	13,426
経常利益	76,057
特別損失	
関係会社株式評価損	1,960
減損損失	24,590
特別損失合計	26,550
税引前四半期純利益	49,506
法人税、住民税及び事業税	4,769
法人税等調整額	△69,603
法人税等合計	△64,834
四半期純利益	114,340

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	49,506
減価償却費	146,262
減損損失	24,590
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	15,906
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△36,397
受取利息及び受取配当金	△579
支払利息	13,426
関係会社株式評価損	1,960
株式報酬費用	6,910
為替差損益 (△は益)	△744
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△72,016
売上債権の増減額 (△は増加)	△65,731
前受金の増減額 (△は減少)	62,207
たな卸資産の増減額 (△は増加)	20,905
仕入債務の増減額 (△は減少)	35,753
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	23,420
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	49,027
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△1,126
その他の負債の増減額 (△は減少)	△6,785
小計	266,497
利息の支払額	△13,156
法人税等の支払額	△134,982
営業活動によるキャッシュ・フロー	118,358
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△143,934
無形固定資産の取得による支出	△120
敷金及び保証金の差入による支出	△19,699
投資活動によるキャッシュ・フロー	△163,753
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△160,000
長期借入金の返済による支出	△75,999
リース債務の返済による支出	△52,637
配当金の支払額	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△288,640
現金及び現金同等物に係る換算差額	744
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△333,290
現金及び現金同等物の期首残高	1,325,513
現金及び現金同等物の四半期末残高	992,222

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

※平成20年6月25日付で会社法第448条第1項に基づき、利益準備金2,880千円、資本準備金729,232千円減少させ、繰越利益剰余金の填補を行いました。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	1,453,760
II 売上原価	1,097,846
売上総利益	355,913
III 販売費及び一般管理費	317,744
営業利益	38,169
IV 営業外収益	2,685
1 受取利息	220
2 保証料収入	224
3 関係会社業務支援料	1,806
4 その他	434
V 営業外費用	18,998
1 支払利息割引料	18,389
2 その他	609
経常利益	21,856
税引前四半期純利益	21,856
法人税、住民税及び事業税	377
法人税等調整額	15,773
四半期純利益	5,705